

Elazzio

SEAT COVER



TOYOTA
NOAH
VOXY
ESQUIRE

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

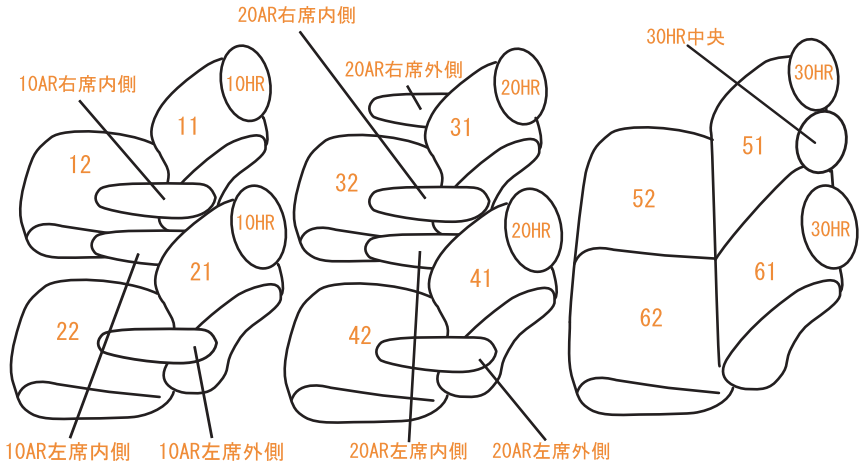
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

- シートカバー装着前の注意事項 …> 3P~4P
- 1 列目運転席座面の装着方法 …> 5P~6P
- 1 列目背もたれの装着方法 …> 7P~10P
- 2 列目座面の装着方法 …> 11P~12P
- 2 列目背もたれの装着方法 …> 13P~14P
- 3 列目座面の装着方法 …> 15P~17P
- 3 列目背もたれの装着方法 …> 17P~18P
- ヘッドレストの装着方法 …> 19P~21P
- アームレストの装着方法 …> 22P
- 2 列目土台部分、プラスチックカバーの開け方 …> 23P
- コンビニフックの加工方法 …> 24P~25P
- 助手席座面（助手席リフトアップシート）の装着方法 …> 26P~27P
- 助手席背もたれ（助手席リフトアップシート）の装着方法 …> 28P~29P
- アフターサービスと生地別メンテナンス方法 …> 28P~29P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



この商品では上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかけられないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

…> 1 列目運転席座面の装着方法



- 1 始めにシート背面からシート裏に回っている生地を、図のように外します。生地はゴムでシート裏に引っ掛けて固定されています。



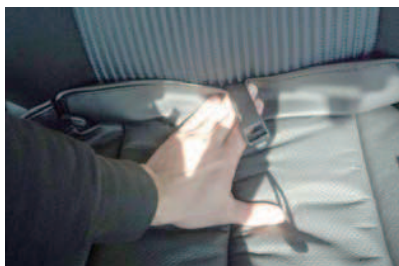
- 4 シート背面から生地を引き出します。サイドエアバッグ装備車は配線の固定を外して端に寄せます。快適温熱シート装備車は図のように配線部分をかわして生地を引き出します。



- 2 カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



- 5 シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して入れ込みやすい位置で行ってください。
※快適温熱シート装備車・サイドエアバッグ装備車は、シート背面の配線に気を付けて生地を入れ込んで下さい。



- 6 カバー外側内側の生地を、シートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。



- 7 外側後方は隙間が狭くなっています。生地を矢印方向へ向けて入れ込むようにすると生地が入り込みやすくなります。



- 10 シート背面からベルトを引き出して、5ページ4番で引き出した生地が付いているバックルに通します。



- 8 シート付け根部分の生地を図のように入れ込みます。



- 11 ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。ベルトは強く引きすぎると、縫製糸が切れてベルトが抜けてしまう恐れがありますので、ご注意ください。



- 9 カバー前方に付いている3本のベルトを、スライドレバー、シート裏の金属バーの上を通してシート背面へ回します。



- 12 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。

※助手席リフトアップシートの座面の取り付け方は26、27ページをご覧ください。

Step 2

…> 1 列目運転席背もたれの装着方法

※コンビニックを使用するには、カバー装着前にコンビニックを外して、カバーには穴開け加工が必要です。コンビニックを使用される方は、24P25Pのコンビニックの加工方法をご覧ください。コンビニックを使用されない場合は、コンビニックは外さずにそのままカバーの装着を行ってください。



- 1 始めにアームレストを外します。図のプラスチックキャップをへらなどを使用して外します。



- 2 ソケットレンチなどを使用してアームレストを固定しているボルトを外します（ソケット14mm）。



- 3 ボルトを外すとアームレストが図のように外れます。



- 4 カバー両側面のファスナーを開けておきます。カバーをシートのラインに合わせて、シート肩口の生地がしっかり張るようにかぶせます。



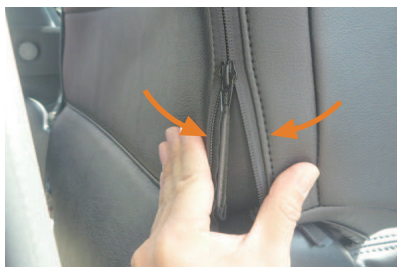
- 5 ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。始めに台座の片側のフチに生地をしっかりを入れ込みます。



- 6 生地の伸びを利用して台座を取り出します。革を使用したカバーでは、革が伸びないため、台座を取り出す際、若干生地が裂ける場合があります。少し生地が裂けても台座のフチに隠れますので、作業は焦らず慎重に行ってください。



- 7 背もたれと座面の間隙に生地を入れ込みます。入れ込む生地にカバー固定用のフックが付いているので、生地を入れ込む際は、フックで座面カバーやシート表皮を傷付けないようにご注意ください。



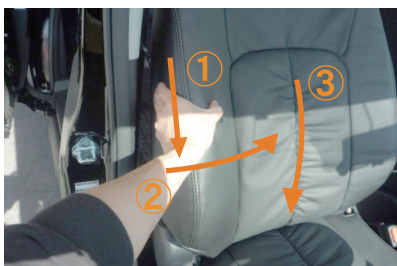
- 10 カバー側面のファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



- 8 シート背面から生地を引き出します。



- 11 ファスナーを全て閉じ、ファスナーの端はカバーの内側へ入れ込みます。



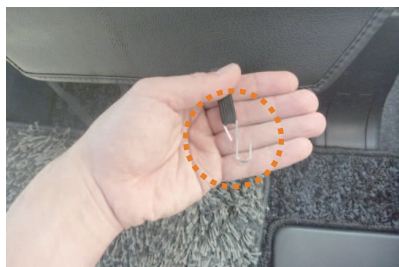
- 9 カバー側面の生地を、図の①～③の順番でシートに密着させるようにして、シワをなくしていきます。側面の生地がしっかりと張るまで繰り返し行って下さい。



- 12 8番で引き出した生地に付いているプラスチックを、シート表皮を固定している金属の芯部分に引っ掛けて固定します。



- 13 ブラックを固定すると図のようになります。
フックが引っ掛かり辛い場合は、14番をご参照下さい。



- 16 カバー背面下に付いているゴムに付属している金属フックを取り付けます。



- 14 ブラックを固定する前に、フックの隙間にヘラなどを差し込み、フックの隙間を少し広げておくとフックが引っ掛かりやすくなります。



- 17 金属フックはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。



- 15 5ページ1番で外したシートの生地を元に戻します。



- 18 シートの背面下は図のようになります。



- 19 シート付け根のフチに、図のように生地を入れ込みます。



- 20 カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。
※助手席リフトアップシートの背もたれの取り付け方は28、29ページをご覧ください。

Step 3

…→ 2列目座面の装着方法



- 1 カバーを裏返してシートのラインに合わせます。



- 4 引き出した生地をマジックテープで直接シートに貼り付けて固定します。



- 2 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 5 シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 3 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- 6 カバー外側内側の生地を、シートとプラスチック部の隙間に入れ込みます。



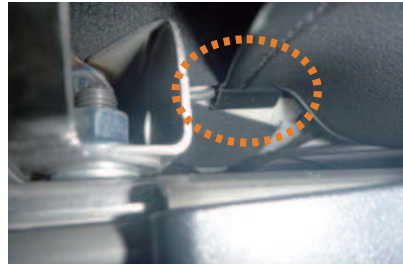
- 7 シートの付け根部分にも生地をしっかりと入れ込みます。



- 8 図のシート前方のフチに生地をしっかりと入れ込みます。内側外側共に入れ込み、シート前方の生地がしっかりと張るようにして下さい。



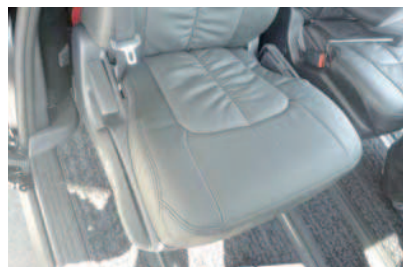
- 9 カバー前方の端には図のフックが3個付いています。



- 10 フックはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。シート裏は生地で覆われていますが、その生地を固定している金属部分に引っ掛けて固定します。
※シート裏の金属の端などでケガをしないように気を付けて下さい。



- 11 シート裏の前側は図のようになります。
※10番の作業はシート裏の隙間が大変狭いため、手が入らない方などは25Pをご覧ください。シート裏のプラスチックパーツを開ける方法を記載しています。



- 12 カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step 4

…→ 2列目背もたれの装着方法



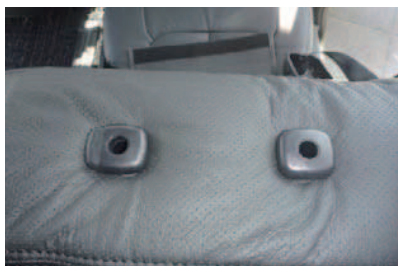
- 1** 1列目同様にアームレストを外します。
(ソケット14mm)



- 4** カバー背面のファスナーを開いて、シートを包み込むようにかぶせます。カバーはシートベルトの内側を通します。



- 2** シートベルトが出ているプラスチック部を外します。ドライバーで図の位置にあるネジ2本を外します。



- 5** ヘッドレストの台座を取り出します。



- 3** プラスチック部は背面側にフックが掛かっているため、矢印の方向へ外します。



- 6** 背面のファスナーを内へ生地を寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 7 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 10 プラスチック部を元に戻します。プラスチック部内側の背面にあるフックを、土台側の金属バーに引っ掛けて元に戻します。



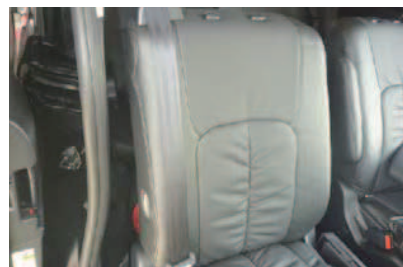
- 8 入れ込んだ生地をシート背面から引き出して、カバー背面下の生地とマジックテープで固定します。



- 11 シート付け根のフチに、図のように生地を入れ込みます。



- 9 シートベルトが出ている周りは図のようになります。周りの生地にシワが寄らないようにシートに馴染ませます。



- 12 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

Step 5

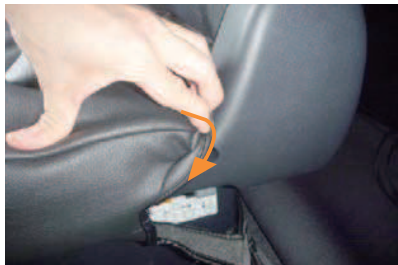
…> 3列目座面の装着方法

※シートカバーを装着することで3列目シート跳ね上げ時、車体側にロックをかける際、シートを車体側に押すサポートが必要になります。

カバーは上記の作業に考慮して、最小限の厚みにしていますが、予めご了承下さい。



- 1** シートを斜め45度程度跳ね上げた状態で、シートを固定している脚部分をかわして、カバーを前から後ろへかぶせます。



- 4** シート内側の付け根部分に生地を巻き込むようにかぶせます。



- 2** シートをフロアに固定して、カバーをシートのラインに合わせます。



- 5** シート外側の角に、生地がしっかり張るようにシートに馴染ませます。



- 3** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 6** カバー外側面の生地をシートに巻き込むようにして、マジックテープで直接シートに貼り付けて固定します。



- 7** カバー外側の図の位置に付いているマジックテープを、シートの裏から取り出せるように入れ込みます。



- 10** 7番で入れ込んだマジックテープをシート裏から引き出して、シート裏のマジックテープと固定します。



- 8** 15ページ3番で入れ込んだ生地を、背面から引き出します。



- 11** 8番で引き出した生地とカバー背面の生地を寄せ合いながら、ファスナーを慎重に閉じて固定します。ファスナーの端はカバーの内側へ入れ込みます。



- 9** シートを跳ね上げて、図の切込み穴からシートを跳ね上げた際に、シートを固定するベルトを通します。ベルトは間違っても長方形の穴に通さないようにして下さい。長方形の穴は通したベルトをシート側に固定する際のロック部分に位置を合わせます。



- 12** シートを跳ね上げる際に使用するレバーに生地が掛からないよう、レバーの内側に生地を通します。



Step6

3列目背もたれの装着方法



13 シート裏は図のようになります。



1 カバー外側面ファスナーを開いて、シートのラインに合わせてかぶせます。



14 シートベルトバックルが出ているフチに生地を入れ込みます。



2 ヘッドレストの台座を取り出します。



15 カバーのラインを整えて、3列目運転席側座面の完成です。助手席側も一部形状は異なりますが、同様に取り付けます。



3 シート付け根のフチに生地を入れ込みます。



4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



7 5番で引き出した生地とカバー背面下の生地をマジックテープで固定します。



5 シート背面から生地を引き出します。



8 カバーのラインを整えて、3列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も一部形状は異なりますが、同様に取り付けます。



6 カバー外側面のファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの内側へ入れ込みます。



9 3列目シートを跳ね上げて、車体側にロックをする際、ロックが車体側まで届かない場合は、図のようにシートの角を押して固定するようにして下さい。

Step 7

…→ 1、2列目ヘッドレストの装着方法



- 1** カバーを半分程折り返した状態で、ヘッドレストのラインに合わせて先端までしっかりとかぶせます。カバーは板状のプラスチックパーツが付いている方が前側です。



- 2** ヘッドレストのラインに合わせてカバーを左右均等に引き下げ、ヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3** ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト底面で生地を内へ寄せながらマジックテープを固定します。



- 4** 前後のブラックを固定します。



- 5** ブラックは板状のプラスチックを生地と一緒に折り返して、フック側に巻き込むように入れ込み固定します。



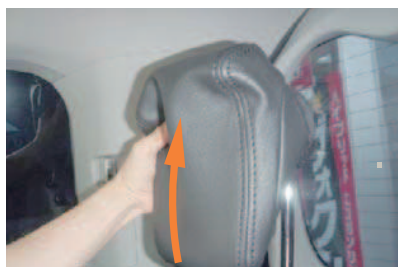
- 6** ヘッドレスト底面は図のようになります。



Step 8 3列目ヘッドレストの装着方法



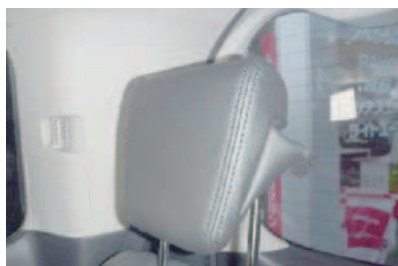
7 ヘッドレストをシートに戻します。カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



1 3列目両サイドのヘッドレストは、図のようにヘッドレストの先端にカバーを引っ掛けるようにして、下から上かぶせます。



8 2列目ヘッドレストも1列目同様に取り付けます。ヘッドレスト底面の図です。2列目ヘッドレストは軸が中心付近にある形状から、軸回りの穴を大きくしてカバーを取付けやすくしています。



2 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



9 2列目ヘッドレストの完成図です。



3 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト底面で生地を内へ寄せながらマジックテープを固定します。



4 1、2列目同様にブラフックで固定します。



7 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



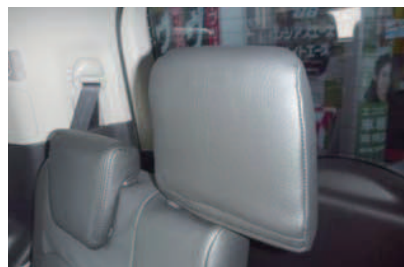
5 ヘッドレストをシートに戻します。
カバーのラインを整えて、3列目ヘッドレストの完成です。



8 ヘッドレスト裏で前後のマジックテープを固定します。



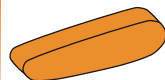
6 3列目中央ヘッドレストです。
カバーを半分程折り返した状態で、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。こちらはオスのマジックテープが付いている方が前になります。



9 カバーのラインを整えて、3列目中央ヘッドレストの完成です。

Step 9

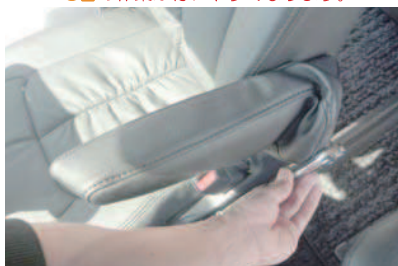
…> 運転席アームレストの装着方法



アームレストカバーは装着前の形が若干ねじれているように見えますが、仕様上問題ありません。装着をすればアームレストのラインに沿った形になります。※合成皮革のシートはアームレスト本体が少し固いため若干小さく感じられるかも知れませんが、じっくり作業を行って頂くときれいに装着出来ます。



- 1 カバーを半分程裏返した状態で、アームレストのラインに合わせて先端までしっかりとかぶせます。
※この状態でカバーをいったんアームレスト全体にかぶせておくと、生地が馴染み3番の作業が行いやすくなります。



- 2 アームレストをシートに戻します。
※ブラキャップを付け忘れないようご注意ください。



- 4 ヘラなどを使用して、アームレスト付け根の隙間に生地をしっかりと入れ込みます。



- 5 アームレストを起こして、アームレスト付け根の隙間に生地をしっかりと入れ込みます。



- 3 アームレスト全体にカバーをかぶせながらアームレストの付け根部分に生地を引っ掛けるようにしてかぶせます。生地の端が折り曲がると装着しづらくなるため、生地の端が折り曲がらないようにかぶせます。生地を無理に引っ張ると裂けますので、作業は慎重に行ってください。



- 6 カバーのラインを整えて、1列目運転席アームレストの完成です。助手席、2列目アームレストも形状は異なりますが、同様に取り付けます。

2列目土台部分、プラスチックカバーの開け方



- 1 2列目座面下のレールの上部分にあるプラスチックのふたを開けます。細く先の尖ったものを上の隙間に差し込み、手前に引くとふたが開きます。ふたはシートの内側・外側にあります。



- 2 ふたを開けて中にあるボルトを、ソケットレンチなどで外します。ソケットは17mmを使用します。
※ボルトはアームレストなどよりかなり固く固定されています。



- 3 中にあるネジをドライバーを使用して外します。



- 4 ふたの内側にある、ボルト・ネジを外した状態です。
この状態で、シートの内側・外側とも同様に外すとシートのプラスチックカバー前側が少しグラグラした状態になります。



- 5 ふたを開けた状態で、開けたふた部分を掴み、矢印の方向へ慎重に引っ張ります。中央のプラスチック部とクリップ式のツメで固定されている部分が図のように外れます。ツメは○印部分に2か所あります。シートの内側・外側とも外します。



- 6 中央部の側面の固定を外すと、図のように中央のプラスチック部が開きます。この状態にすると12ページ10番の作業が容易に行えるようになります。

コンビニフックの加工方法

この車のコンビニフックは上下のツメで固定されています。ツメで固定されているタイプのコンビニフックは固定が元々強くない為、シートカバー装着後、元に戻せなくなる場合があります。コンビニフックを、ご使用されるにあたりカバーに加工をされる場合は**自己責任**でお願い致します。



- 1 フックを出して、フック下のツメをへらなどで軽く起こします。ツメを起こしながらフックを手前に引くとシートからコンビニフックが外れます。



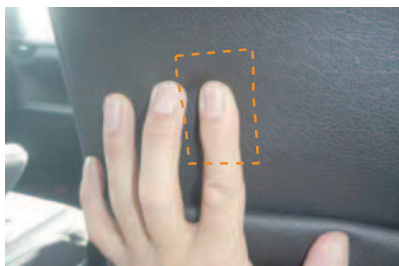
- 4 確認した位置に図のように印を付けます。始めは若干小さめに印を付けるようにして下さい。



- 2 コンビニフックの側面図です。図のように下のツメがかなり小さいため固定が強くなりません。下のツメの山がかけたりすると**固定が出来なくなります。**



- 5 印に沿って、生地を図のように切り取ります。生地を切る際は、シート表皮を傷付けたりしないように、作業は慎重に行ってください。



- 3 背もたれカバーを装着します。コンビニフックを元に戻すのに穴を開けますので、加工後は背もたれカバーをずらしたりできません。穴開け加工をする前に、背もたれカバーにずれなどが無いかしっかりと確認して下さい。
カバーの上から指でコンビニフックの固定位置を確認します。



- 6 コンビニフックをシートに戻します。**2番**の図を参考に下から上へ、上のツメをまず引っ掛けて、押し込み下のツメを引っ掛けます。固定後はコンビニフックを軽く引っ張りしっかり固定できているか確認して下さい。

コンビニフックの加工方法続き



7 コンビニフックの完成です。



8 補足です。

6番の作業でどうしてもコンビニフックが固定できない場合、シート側の留め具を少し手前側に起こすと、コンビニフックが固定されやすくなります。

これを行うには、マイナスドライバー、もしくはそれに近い代用品を用意します。図のように真横から用意した工具を差し込み、この原理でコンビニフックの下のツメが引っ掛かる金属の留め具を手前に起こします。数値にして**1~2mm**程度です。これで再度コンビニフックを元に戻すようにお試しください。

※こちらは無理に行くとシートのフレーム自体を变形させかねません。作業は慎重に、**自己責任**で行ってください。

助手席座面(助手席リフトアップシート)の装着方法



- 1 シートを車外に出した状態でカバーの取り付けを行います。



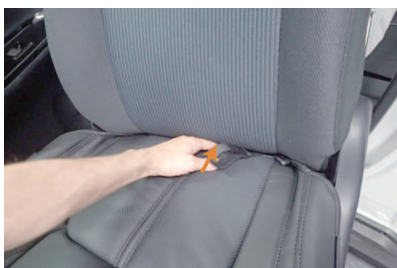
- 4 入れ込んだ生地とマジックテープを背面側から引き出します。



- 2 座面全体にカバーをかぶせます。



- 5 カバーの左右と前側に付いている固定部材を、生地と共にプラスチックカバーの隙間に入れ込みます。



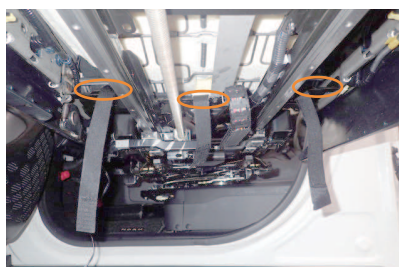
- 3 背もたれと座面の隙間に、マジックテープが3本付いている生地を、マジックテープごと入れ込みます。
背もたれの角度を調節して、入れ込みやすい角度で作業を行って下さい。



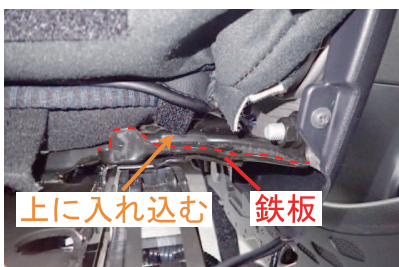
- 6 4番で引き出したマジックテープの内、中央に付いているマジックテープを、図の鉄板の上に入れ込みます。
※実際は純正の目隠し生地(9番参照)がシートに固定されている為、鉄板は見えませんが、鉄板は見えません。
※カバーの取り付けは純正生地を外す必要はありません。



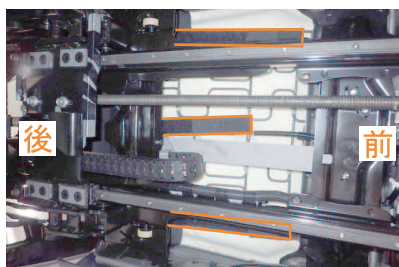
- 7** シートを後ろから見た際、左側に付いているマジックテープを、図の鉄板の上に通します。



- 10** 入れ込んだマジックテープを座面裏の図の部分から引き出します。



- 8** シートを後ろから見た際、右側に付いているマジックテープを、図の鉄板の上に入れ込みます。



- 11** 引き出したマジックテープを、座面裏の金属部分に巻き付けて固定します。固定部分に指定はありませんが、程よくテンションが掛かる位置に固定して下さい。



- 9** 実際の中央部分は、図のように純正の生地と生地の隙間に、マジックテープを通します。



- 12** カバーのラインを整えて、助手席座面（助手席リフトアップシート）の完成です。

助手席背もたれ(助手席リフトアップシート)の装着方法



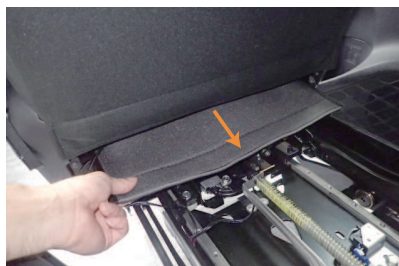
- 1** 始めにアームレストを外します。図のプラスチックキャップをへらなどを使用して外します。



- 4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調節して、入れ込みやすい角度で作業を行って下さい。



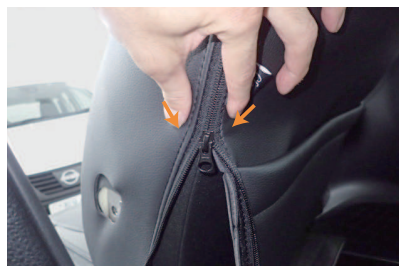
- 2** ソケットレンチなどを使用して、アームレストを固定しているボルトを外します(ソケット14mm)。ボルトを外すとアームレストが背もたれから外れます。



- 5** 入れ込んだ生地を、背面側から引き出します。



- 3** 背もたれ全体にカバーをかぶせます。



- 6** 生地を内へ寄せながらファスナーを閉じません。



- 7** ファスナーの端は、カバーの内側に入れ込みます。



- 10** カバーのラインを整えて、助手席背もたれ（助手席リフトアップシート）の完成です。



- 8** ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。



- 9** 8ページ9番と同様にカバーをシートに馴染ませた後、5番で引き出した生地が付いているマジックテープと、カバー背面下部の生地裏に付いているマジックテープを固定します。





After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラセード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816